(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員 山口 忠孝

		グロン プログロ グログ プログロ グログ プログロ グログ グログ プログロ グログ アイド グログ アイド							
開催月日	平成30年4月12日								
開催時間	13:00~14:30								
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号								
主催者	全国市町村国際文化研修所								
研修会等の名称	平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー								
講師等の氏名等	講義1 豊岡の観光戦略~Local & Glocal~ 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治氏								
	豊岡市は、以前総務企画常任委員会視察で城崎温泉を訪ねていたので、市長の話を 興味を持って聴くことができた。中貝市長は、地方が豊かな都市(社会的・経済的・文化 的)に対抗していくには、地方で暮らす価値の創造しかないとまちの再生に取り組んでお られる。特に、インバウンドを利用した観光戦略で世界から注目されるまちをめざし、まち の生き残りをかけて様々な事に挑戦されている。								
		守り育て、引き継ぐ…城崎温泉地区 「。昔からの伝統行事や建物を大事							
	②芸術文化を育てる…城崎国際アートセンターを無料で貸し出し…平田オリザ氏、イレーヌ・ジョコブ氏らを招聘								
内容·結果等	③環境を守る…コウノトリ野生復帰へ取り組み、復活させる								
	この他の取り組みや、これから取り組むこと 情報戦略として秘書広報課を情報戦略課に。副市長を公募(2009年)。豊岡版DMO構築。ふるさと教育(若者が地元へ帰ってきてくれるような街づくりを目指す)。英語習得を幼稚園や保育園から取り組む。演劇によるコミュニケーション能力向上。観光を専門とした県立専門大学の設置など。また、アーティスト集団やクリエータらに移住してもらう。								
	けて、観光による街全体のコミュニ	い中、都市部とは違う価値観を地 ニケーション能力の向上をめざし取 5長の個人的な資質が大きいのだる と感じた。	り組まれている姿の						
上記活動に要した経費	経費の内容	支 払 先	金額(円)						
	会場費								
	講師謝礼								
	出席者負担金								
	会費								
	旅費		29,640						
	宿泊費 振込手数料		6,650 540						
	10000000000000000000000000000000000000		340						
	合 計		36,830						
	* *		·						

[※]裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

No.2

嬉野市議会議員 山口 忠孝

開催月日	平成30年4月	月12日								
開催時間	14:50~16:	14:50~16:20								
開催場所	大津市唐崎	2丁目13	番1号							
主催者	全国市町村	国際文化	比研修所							
研修会等の名称	平成30年度	第1回市	町村議会	議員特別·	セミナー					
講師等の氏名等					が切り拓く地域のま 基長中村 好明氏	卡来				
	観光立国と	は…日本	の暮らしの	クオリティー	−をあげること。暮	らしを売るこ	٢			
		インバウンドとは…日本に集まってくる人・モノ・カネ・情報のすべてであり、観光だけでなく総合政策。レジャーだけの狭義の観光ではなくビジネス出張や国際会議、友人親族訪問を含めた広義の観光。								
	社会を変革(未来を創る)する五つの"き"…意識(未来を考える)、知識(考える方法)、勇気(実行する、 自信)、元気(協働、活力)、景色(未来の現実)									
	観光立国を担う五つの"モノ"…若者(40歳未満)、バカ者(破天荒の発想)、よそ者(新しい視点)、切れ者(専門性を有する)、本物(情熱や哲学を有する)									
内容∙結果等	中村氏は、多岐にわたり様々な仕事に関わっておられるが、仕事には、米仕事(自分のため、生活のため、報酬を得るため)と花仕事(社会のため、世の中のため、無報酬)があり、その両方が必要であり、社会を形作っていくにはどちらも大切であると説かれた。また、地元のインバウンドの成功には、飲食、物販、宿泊施設、観光拠点、そして行政や観光協会などの公共セクターこれらすべての担い手が有機的に連携して世界に情報発信し、外客をいかにおもてなすかにかかっていると述べられた。単なる経済活動だけではなく、社会全体の事を考え、持続可能な社会をつくっていくという哲学が必要であると力説された。									
	明出身であるるというおもでを仕事で飛び 佐賀の方で課	ことがわ てなしを受 「回ってい 構演会をお	かり親しみ けた。講義 るが、佐賀 Sこなう予定	を感じた。ま のなかでも 県とも関係 があるのて	うことだったので、 5ろうことか、同郷の 、東京に本拠地を 性を持って繋がり。 皆さん方によろし ・般質問や今後の	のよしみで自 構え世界各 を大切にして くお伝えくだ	分の著書 地や日本 いると述べ さいとのメ	をプレ 国内の べられ ッセー	レゼント のあちこ いた。6↓ ージを頂	ヽ下さ こち 月に
上記活動に要した経費	経 費	Ø	内 容	支	払	先	金額	 (円)
	会場費									
	講師謝礼									
	出席者負担	旦金								
	会費									
	旅費									
	宿泊費									
	振込手数料	¥								
	2	計					No.1に記	 載		

[※]裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.3

嬉野市議会議員 山口 忠孝

				,	倍野 叩 誐	ム哦只		<u> </u>	芯子
開催月日	平成30年4月13日	l							
開催時間	9:00~10:30								
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号								
主催者	全国市町村国際文化研修所								
研修会等の名称	平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー								
講師等の氏名等	講義3 観光・地域振興のあり方を考える〜観光は地域を元気にできるか〜 立教大学観光学部教授 観光研究所所長 東 徹氏								
	観光資源はいたる 観光資源を開発=			、それを観光対象	にするしぇ	かたに	問題	があ	る…
	いつでも、どこでも できる価値 グロ り、訴求していくか	コーバル化し							
	観光・地域振興=住んでよし、訪れてよしの地域づくり…受益者としてのまちづくり、参画者としてのまちづくり								
内容·結果等	観光によるまちづくり…バブル時代のリゾート開発ブーム(1980年代後半)⇒観光による 地域振興の新たな方向性(1990年代)⇒観光まちづくりという理念と運動(2000年以降)… 価値観の変化								
	地域住民が主体のまちづくりが、観光と結びつき、地域ブランドを構築し、交流人口から 縁やゆかりの人口増加に繋がり、住民の地域に対する誇りや愛着を育んでいく。								
	感想 観光でまちづくりというと観光業に関わっている業界だけの問題だと捉えがちだが、そうではなく、住民が主体となって取り組まないと地域を元気にできないという主張には共感できる。地域の人口が減少していくなかで、外との関係性を重視したまちづくりがポイントとなってくるのではなかろうかと感じた。								
	経費の	内 容	支	払	 先	金	額	(円)
	会場費								
	講師謝礼								
上記活動に要した経費	出席者負担金								
	会費								
	旅費								
	宿泊費								
	振込手数料								
	合	<u>計</u>				No.1(3	記載		

[※]裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること。

No.4

嬉野市議会議員 山口 忠孝

						磨野巾議:	広 硪貝	Щ	<u>н</u>	<u></u> 忠孝
開催月日	平成30年4月	13日								
開催時間	10:50~12:20									
開催場所	大津市唐崎2丁目13番1号									
主催者	全国市町村	国際文化研	修所							
研修会等の名称	平成30年度	第1回市町	寸議会	議員特別	セミナー					
講師等の氏名等	講義4 京菓子老舗女将のとっておきのお話 笹屋伊織 女将・京都おもてなし大使 田丸 みゆき氏									
	京都人のおっなるまで見送り				3回断る。その間に	コミュニケー	ーションで	をとる。	見え	になく
		道発祥の地			お祭りや供養に欠か 材料の宝庫(丹波大約					
					ご楽しむ)、臭覚(香り 「銘を聴いて楽しむ)	や移り香を	·楽しむ)	、触覚	(歯角	触り、
	季節のお菓子にはない。	子に込められ	た思し	いいこどもの)成長と子孫繁栄を	願うお菓子	(粽、柏	餅など) は 注	羊菓
	おもてなしとは…お客様第一、お役に立つ、ケチ(情報のケチ、能力のケチ、ご縁のケチ)にならない、名前を呼ぶ、クレームに応える。									
内容・結果等	お客様に届け 考えに陥りか 感動的なもの ら、古いお菓	けるという当 いちだが、詞 Dであった。 子を守って Dところのよ	たり前 実な心 最後に きたか	がのことでだいこそが最いこそが最いるではない。 いらではない	は、お客様を第一 まあるが、そこに性 大のおもてなしで 00年も続いてきた いだろうかと、子と にやっと買い求めに	青や欲が <i>り</i> あることに のは、新し も時代に	しり込み 気づか いおす 食べる	, よこ いされ; き子を ことが	こしま たとい 作り でき	まないう ながな
	感想 京菓子老舗の女将として活躍されていることがよく伝わってきた。伝統やしきたりが厳しい社会でありながら、おもてなしという手段を用いて家業を存続させてきた老舗ならではの話が聴けたのは、貴重な体験であった。おもてなしの講義をしながら、自分の店の宣伝営業もするというしたたかさも嫌味を感じさせないものであった。お菓子のFAX専用注文用紙をさりげなく貼付しているところもしっかりしておられ感心させられた。おもてなしの奥の深さを改めて考えさせられた。									
	経 費	の内	容	支	払	先	金	額(円)
	会場費									
上記活動に要した経費	講師謝礼									
	出席者負担	坦金								
	会費									
	旅費									
	宿泊費									
	振込手数料	÷1					NI 41-	· == ++		
	合	計					No.1/5	-記載		